

## 令和4年度 青木村保育園の取組

ねらい	内容（・継続している取り組み ◎本年度の新たな取り組み）
①保小中一貫教育	<p>◎小中学校の児童生徒や教諭との<b>見学交流保育、参観（体験）保育の実施</b></p> <p>小学校＝音楽会リハーサル・児童会祭・運動会・やきいも会・ハロウィンなどへの<b>見学及び参加</b></p> <p>中学校＝職場体験学習、保育体験 教職員＝体験または<b>参観保育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な就学相談の実施と情報の交換（共有）・保小接続プログラムの検証と効果的運用</li> <li>・教育ポイント5ヶ条の推進</li> </ul>
②多様な他者や自然とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びを中心にした遊び込み <ul style="list-style-type: none"> <li>ア、あおきっ子広場の活用…火曜、木曜を広場の日とする。</li> <li>イ、村内の施設（くつろぎ公園・ふるさと公園・豊受神社など）の活用</li> </ul> </li> <li>・（祖父母）、小中学生、（ボランティア）、<b>役員さん</b>、ALT、大学生等とのかわり <ul style="list-style-type: none"> <li>ア、行事への参加…畑・水田の作業（祖父母）、保護者会作業、保育体験（中学生・大学生）</li> <li>（イ、レポートあおき（高齢者施設）の訪問及び交流）…コロナ禍の為中止</li> <li>ウ、民生児童委員の行事参加…クリスマスサンタさんへのご依頼</li> </ul> </li> <li>◎エ、<b>役員さんの行事お手伝い</b>…お餅つき会、まゆ玉づくり、お正月遊び</li> <li>◎オ、<b>ALTとの週1回の交流</b></li> <li>・村内各種団体との交流（ヤギの会・農土花等・リフレッシュパークサマーチャレンジ・桑の実摘み体験 など）</li> </ul>
③学力・体力向上  (学力・体力向上事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくり</li> <li>◎ア <b>園庭の遊具、室内遊具を使ったサーキット遊び</b> イ リトミックや縄跳びなど <ul style="list-style-type: none"> <li>ウ 散歩 … 青木村の自然や史跡等を教材とする</li> </ul> </li> <li>・信州型自然型保育への取組（青木村型やま保育の実践）</li> <li>・基本的な生活習慣におけるスモールステップの研究</li> <li>・図書館の利用…おはなし会等事業への参加、図書の貸し出し（推薦図書の紹介コロナ禍のため中止）</li> <li>◎オンラインによる定住自立圏事業・郡の協議会による研修等の機会を活用した保育士の資質向上</li> <li>・ALTの活用… 外国語への親しみと文化の学習</li> </ul>
(評価システムの構築)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ちの評価…保育の記録（発達の状況） ・やったるカード等による記録と評価</li> <li>◎<b>個別支援計画の作成及び振り返り</b></li> </ul>
④子どもと向き合う時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育での絵本の読み聞かせの実施 ・未満児組、ビデオ参観（コロナ対応）</li> <li>・子どもと向き合う保育の充実◎保育参観のあり方について、<b>以上児、分散型保育参観の導入</b>（参加型保育…コロナ禍のため中止）</li> </ul>
⑤一人一人を大切に教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害のある幼児への支援体制の整備</li> <li>◎ア、カウンセラーの定期的な訪問（育ちの確認、職員からの<b>相談、助言、発達検査</b>）</li> <li>◎イ、支援の必要な園児とその保護者双方への支援、<b>たんとキッズあおきとの連携強化と適切な医療受診への移行を行う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウ、発達障害に対する理解（全園児・保護者への啓蒙…園のしおりへたんとキッズあおきについて掲載を行う）</li> </ul> </li> <li>◎エ、<b>未就園児のたんとキッズ利用者における保育園への移行を行う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>オ、かんがる一教室、わくわく広場への保育士参加を行い、未就園児から保育園入所に向けてのスムーズな移行を行う</li> </ul> </li> <li>・個別支援計画の作成及び、就学に向けた関係機関の調整</li> <li>・園内研究会の実施（情報の交換と共有）…園内研修を行い、お互いの保育を参観しあう事により資質の向上を図る。</li> <li>◎オンライン研修による職員の<b>積極的な参加</b>（コロナ対応）</li> <li>◎保育士同士の<b>連携</b>とよりスムーズな情報の共有を行うために、<b>掲示板を有効活用する</b>（朝礼等の申し伝え事項の徹底など）</li> </ul>

## 令和4年度 青木小学校の取組

重点項目	具体的な取組 ◎令和4年度 特に力を入れた取組
① 保小中 一貫教育	◎保小中間の連携を密にした移行支援の充実 ・保小接続プログラムの実践と改善 ◎中学の教科担任制を見据えた授業と主体的な家庭学習に向けた取組 ・中学校での授業体験、中学校入学に向けた中学校校長講話 ・こまゆみ祭への参加、中学校体験入学の実施(授業、部活動の参観) ・3,4組と中学校C,D組との交流 ・PTAを主体とした「あおきっ子教育ポイント5か条」の実践 ◎高学年を中心に、教科担任制の一部実施(音・家・理・算+アルファ) ◎情報モラル(ネット・スマホ依存)への小中連携した対応 ・地区子ども会やPTA地区懇談会、小中合同通学路点検等の連携した運営 ・人権、学校保健、授業研究、新任地域研修について的小中合同開催
② 多様な 他者や 自然との かかわり	◎「青木村を愛する活動」の計画的な推進⇒ 信州教育の日(発表) (新型コロナウイルス感染状況をみながらその都度判断していく) 5,6年生 五島慶太に学ぶ活動(修学旅行(東京方面)は未)、 3,4年生 義民に学ぶ活動(義民太鼓) 1,2年生 青木村を知る活動(青木村探検) ・新潟県弥彦村6年生との交流(⇒コロナ禍のため中止している) ◎地域の特性や専門性、生き方を学ぶ学習ボランティア等とのかかわり ◎体験を通して学校と社会をつなぐキャリア教育の推進 農村体験の実施(4・5年)、レポート青木への訪問交流(3年)、 稲作り(5年) ・放課後児童クラブ、あおきっこ合宿で培った力をつなげる異年齢活動 (姉妹学級交流) ◎学校内外におけるあいさつ運動の実施
③ 学力・ 体力向上 (学力・ 体力向上 事業)	◎ユニバーサルデザイン化された授業による学びやすさの向上 ◎「学び合い」を基軸にした子どもの主体的・対話的な深い学び ◎理科専科村費講師による理科教育の充実⇒教育課程研究協議会(理科) ◎授業におけるICT機器の有効的な活用(信州大学教職大学院との連携による研究) ・指導力向上を図る全職員による授業公開 ・小中連携した家庭学習の充実による学力向上 ・異年齢で関わりながら運動や遊びの楽しさを感じる全校集会の実施 ・体力テストの実施と結果分析、体力改善に向けた授業での取組 ・持久力向上をめざす自主的な活動 朝の100日マラソン(雨天時は縄跳び)
( 評価 システム の構築)	◎学習指導要領に沿った、評価の見直しと授業改善の実践 ・全国学力検査(6年)及び県PDCA事業(5年)CRT(各学年)の実施分析、分析 結果に基づいた指導改善のための目標設定と評価検証 ・PDCAサイクルによる、教師の自己評価指標の作成
④ 子どもと 向き合う 時間の 確保	◎子どもとともに行う気づきの無言清掃 ◎学期に一度、子どもの思いに寄り添う相談週間の実施 ◎子どもたちをチームで見守り、複数の職員がかかわる体制 ・QU実施による子ども理解と学級経営の充実 ・教材研究や学級事務、子どもとふれあう時間を生み出すための諸会合の精選 ・プロジェクトチームによる振り返りと来年度の実施計画の作成
⑤ 一人一人 を大切に する教育	◎全職員で子どもの実態を共有する児童理解の時間の設定 ◎月1回、校内教育支援委員会を位置づけ、タイムリーに支援を行う。 ◎インクルーシブ教育による、合理的配慮を大切にした教育 ◎個別の支援計画の作成 (支援計画をもとに連携した支援会議、次年度への引継) ◎保護者や教職員、たんと等、外部機関と連携した支援の実施 ◎子どもの人権感覚の育成を図るなかよし旬間の実施 ・子どもや保護者の悩みに対応する相談窓口・相談室の設置 ◎人権教育・道徳教育の充実、食育・読書旬間等による心豊かな児童の育成 ◎教職員全員で取り組む非違行為防止研修

## 令和4年度 青木中学校の取組

重点	内容（・継続している取組 ◎本年度の重点的な取組 ゴシック体は新規）
①保小中 一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あおきっ子教育ポイント5か条」を基本にした実践（挨拶 家庭学習 親子で学ぶ情報モラル講演会）</li> <li>・6年生に関わる小中連携 （中学校体験、入学説明会、部活動見学、こまゆみ祭見学、意見交換会参加、中学校長講話）</li> <li>・小中連携に関わる学力向上の研究（4月 授業力向上研修会実施）</li> <li>・人権教育に関わる合同職員研修（R3年度より城西地区と合同で実施、7月）</li> <li>・学校保健に関わる小中合同職員研修（8月）</li> <li>・特別支援教育における小中連携（移行支援会議）</li> <li>・地区子ども会、地区生徒会、合同下校訓練、PTA地区懇談会共同開催（年1回合同）</li> <li>・保育研修への参加 ・2、3年生徒の保育園実習</li> </ul>
②多様な他者 や自然との 関わり	<p>◎重点「自尊感情の育成」の深化。生徒に返す評価の内容についての研究の継続。 生徒が「主体的に取り組む力(考え、挑戦し、振り返り、調整し、実現する力)」の育成を目指した諸活動の推進。 <b>安心して提案したり、間違えたりすることができる雰囲気醸成。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が創る修学旅行等行事、委員会活動等の実践</li> <li>・総合的な学習の時間「アイリスセミナー」（状況により「学年アイリスセミナー」） （村の素晴らしさに触れ、地域の方々の生き方を学ぶ。自らの問いを大切に作る）</li> <li>・伝統芸能（「義民太鼓」・夫神「ささら踊り」細谷「三頭獅子」）の継承</li> <li>・国際交流（第20回 マリスト・サイオン・カレッジ交流）の在り方検討(ICT活用による交流のあり方) （R2, 3は中止）(R1は、生徒15名、教員2名 派遣)</li> <li>・中学生の地域貢献を視点とした防災講座の見直し（多様な災害の想定）</li> <li>・進路学習（中3）先輩（高校生）の話、高校の先生からの話</li> <li>・信大人文学部学生との交流 ・青木村議会の傍聴</li> <li>・PTA+コミュニティーで運営する「PTCA」、地域と共にあるPTA活動を創造</li> <li>・地域と連携した部活動のあり方を探る（運営委員会、校内検討、スポーツ少年団指導者との懇談）</li> </ul>
③学力・体力 向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習「ゴテラ」（部活なし期間、月曜5校時の日、3年部活終了後）、みんなでゴテラ（テスト前）</li> <li>・ウィークエンドスタディ（週末課題）による基礎基本の定着</li> <li>・「短鍛タイム」による読解力向上（漢字道場・分析読解）</li> <li>・家庭学習の在り方検討(オンライン教材の活用)</li> <li>◎自己管理能力の育成（スケジューラーの活用指導）</li> <li>◎授業評価アンケートをもとにした授業改善研修（1，2学期）</li> <li>◎一斉授業での、より効果的なT.Tの活用に関わる研究</li> <li>◎一人一台タブレットを授業に導入するための職員研修及び、オンライン授業対応のための職員研修</li> <li>・授業力向上研修、スキルアップ授業研修会の実施</li> <li>・振り返りの場面での観点を明確にした「学び合い」</li> <li>・「NRT」（全学年）、「全国学力学習状況調査」（3年）、実施及び結果の検証→授業改善</li> <li>・保健体育授業で行う体力向上への取組（柔軟性を高める取組）</li> </ul>
④子どもと 向き合う 時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一週間の中に一日（月曜日）に「ノー部活デー」を設定</li> <li>◎部活動スポーツ指針の周知と遵守</li> <li>・学期末の学級の時間の設定（5時間授業）</li> <li>・相談の時間の活用 計4時間（担任は相談、生徒は読書、ブックトーク） （年2回、生徒全員と担任の相談時間を設定。生徒の思いに寄り添った指導の充実）</li> <li>・生徒理解の時間設定（職員会、職員朝会）</li> <li>・諸会合の精選（DCPAサイクルによる行事の反省・立案、着実な見直し）</li> <li>・教職員の勤務時間管理意識を高める（計画的な勤務の割り振り）</li> <li>◎将来的に教職員数が減った時に向けての校務分掌、行事の整理、効率化。</li> </ul>
⑤一人一人を 大切にする 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解、発達障がい等に関する教職員研修</li> <li>・個に寄せる進学、キャリア教育（年に2～3時間3名程度の地域講師による講話）</li> <li>・インクルーシブ教育の推進</li> <li>◎インクルーシブ教育に係る、T.T活用・少人数学習・個別指導のあり方研究</li> <li>◎適応、特支、生徒指導に関わる支援会議の充実（予防開発的支援、対処的支援）</li> <li>・定期的に行う諸検査と、職員の観察による生徒理解をもとにした支援のPDCA確立</li> <li>・個別の支援計画、指導計画の作成、見直し、活用</li> <li>◎心の相談員、スクールカウンセラー、外部機関との連携</li> <li>・人権月間（年2回、アンケートの実施、校長講話、人権学習）の実施</li> <li>・道徳教育の推進（全職員で取り組む道徳、全体計画の作成、指導資料の共有化）</li> <li>・図書館教育、食育の推進（健康で心豊かな生徒の育成）</li> </ul>